



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター



面倒なアイロンがけ、うまくなるコツは？

『苦手な家事』『面倒な家事』の上位にランクインすることが多い、アイロンがけ。「必要に迫られて仕方なくやっているけど、うまくできないから…」と、だんだん苦手意識が強くなってしまった人も多いのでは？目的に合わせて正しく使い、あなたの理想とする仕上がりを目指しましょう。

繊維は水を含ませるとやわらかくなり、シワが伸びやすくなります。「アイロンをかけても全然シワが伸びない」と悩んでいるあなた、ひょっとして乾いたままアイロンがけをしていませんか？シワを伸ばすために大切なのが『水分』です。霧吹きで湿らせるか、スチームアイロンの蒸気をたっぷり浴びせてからアイロンをかけると、ちゃんとシワが伸びてくれるはず。綿・麻などは、霧吹きで全体をまんべんなく湿らせ、しっかりと圧をかけてアイロンがけを。シワができやすく取れにくい素材のため、スチームを浴びせて軽くアイロンを滑らせる程度では、なかなかシワが伸びないことがあるからです。

シワになりにくいポリエステル・ナイロン・ウールなどは、圧をかけなくてもスチーム+熱である程度シワが伸びます。ハンガーにかけたままスチームを浴びせるだけで効果があるものも。ニットなどはハンガーにかけると伸びてしまうので、アイロン台の上でスチームを浴びせ、生地から1センチ程度浮かせてアイロンをかけるとふんわり仕上げることができます。

最近人気の“衣類スチーマー”は、手軽で便利なアイテム。中にはスチームアイロンとしての機能を併せ持つタイプもあり、用途に合わせて使いこなしている人も。スチームアイロンや衣類スチーマーから出る高温の蒸気には、**除菌効果**があります。また、水分が蒸発するときにニオイの成分を吸着させるので、こまめに洗うことのできないアウターや、気になる臭いがついてしまった衣類にスチームを浴びせて自然乾燥させることで、**消臭効果**も期待できます。『シワを伸ばす』『折りを付ける』以外の使い方覚えて、便利に使いこなしてみてください。

【アイロン仕上げ処理記号】 ※洗濯表示タグに書いてあるマークの意味は？

	高温/底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる	綿・麻など
	中温/底面温度 150℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる	ウール・絹・ポリエステル・レーヨン・ナイロンなど
	低温/底面温度 110℃を限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる	アクリル・ポリウレタン・アセテートなど
	アイロン仕上げ処理はできない	



両手で体重をかけて…

シワが伸びる仕組み

繊維はたくさんの分子によってできていて、各分子は“分子間力”と呼ばれる力で結びついていきます。その分子の並びが乱れている状態がシワです。

繊維は水分を含むとやわらかくなり、シワを作っていた分子間力が緩む → 熱によって分子の動きが活性化し、そこに圧力がかかることで均一に並び直す → 冷めることで分子の動きがおさまり、シワのない状態で留まる

アタリ・テカリ防止に…

アタリとは、厚みの差がある部分に跡が浮き出てしまうこと。縫い目やポケットなどの布が重なっている部分は、押し付けすぎないようにして裏からかけましょう。

テカリとは、アイロンの重みによって繊維の丸みがつぶされ、繊維に面ができることで光を反射してテカってしまうこと。当て布を使い、押し付けすぎないようにしてアイロンをかけましょう。

それでもやっぱりアイロンはちょっと…



「アイロンがけ、やっぱり自分には向いてないな…」という人は、シワになりにくい洗濯の工夫を！ネットに入れる。シワになりにくい洗剤を使って洗う。脱水は短めにし、洗濯が終わったら時間をおかず干す。すぐに干せない場合は、1枚ずつ振りさばき、軽くたたんでカゴの中に重ねておくと重みでシワが伸びます。干すときには形を整え、手で挟んでシワを伸ばす。買う時にシワになりにくい素材の服を選んでいいですね。ストレスを感じてまでアイロンがけをする必要はないので、無理のない範囲でできることを試してみましよう。どうしてもシワが気になるものは、プロに任せるという選択肢もアリですよ。

営業案内 (赤い日は休み)

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

OPEN*9:00-CLOSE*18:30 (冬時間)
※休みや営業時間は変更になることがあります